

「ぼくと遊んでくれるかな」

とある外科医師の救命救急センターの当直勤務の出来事である。21:55、ER（救命救急センター）にホットライン（消防庁からの入電）が鳴り響く。「14歳男児、自動車との接触交通外傷にて、右足大腿部挫滅、出血多量でショック状態（意識がなく、呼びかけに反応しない事）、バイタルは、正常値保てません。ドクターカー（医療従事者が現場へ直接向かう車）の出動をお願いします。」夜間は、ドクターヘリの運行ができないため、ドクターカーを出動。同時に、ICU（集中治療室）にて心臓手術を受けた患者さんの状態が悪化。夜間の勤務体制の医師は5名。中堅ドクターと研修医にドクターカーを託し、私を含む3名の医師を中心にICUにて蘇生術（心肺停止のための処置）を施す。無事に蘇生完了。その頃、ドクターカーが院内に到着。ICUの心臓患者さんの蘇生したものの状態は悪化しているため、2人の医師をICUに残し、ドクターカーが戻ったERへ走って戻る。その時、感じることは、常に最悪な状況を想定する。

ERでは、外傷室（手術ができる場所）にて、治療が開始されていた。外科医師と救急医師が脚の状況を診て、修復できない事を検査で確認。「14歳のサッカー少年の脚をと切断かど。」脳裏には、「この少年が麻酔から目覚めたとき、自分の脚がないことを知った時にどのような医療的、精神的ケアが必要か」を思い浮かべる。命を救う為にやむを得ず「切断」を判断。駆け寄ったお父さんへ、研修医が説明するもパニック状態。「先生、手術の承諾を得ることができません。」と、困った様子の研修医。ここは、経験のある医師が出番である。お父さんの手を握り、落ち着いて説明し、手術承諾を頂く。そして、アンブタ術（切断する手術の術式名）を整形外科班が実施。対応完了。チーム医療の力で、搬送から初療、検査、説明、手術まで、わずか3時間。医師と看護師、看護助手、医療事務、清掃グループの力で、救命は成り立っていることを改めて感じる。

問題はここから、医療的、精神的ケアのプランを立てる。リハビリ科医師と義足をつけたケアを施す。一番つらいのが、精神的ケアである。「先生、もうサッカーできないですね。せっかく選抜メンバーに選ばれて、ここから楽しみだったのに。」と、医師に不満を告げる。さて、ここから彼をどう、導くかど。まだ、知られていない、パラリン（ハンデのある方）サッカーを伝える希望を持たせる。（中略）

半年のリハビリをかけ、義足をつけてフィールドに。フィールドには、同じ状況の選手がいる中、再びフィールドに立てたことに安堵の気持ちの14歳選手。フィールドに立てたことが嬉しかったものの、また、同級生とサッカーがしたい。その時、「ぼくとサッカーしてくれるかな。」「ぼくと、あそんでくれるかな。」との心情を告げられる。（中略）
ここまで
選手の皆さんへ

いつ、自分がこの状況になるかわかりません。さて、みなさんは腕や脚がないお友達に対して、どのように接することができますか。「一緒に遊ぶこと」「一緒に関わること」「一緒にスポーツをすること」を求めています。自分ができることだけでも構いません。身近な友達が、障がいをもつ身体になったら、どのように接していくか。友達の関わりが、精神的ケアになります。もし、このような友達がいたときは、皆さんができる範囲で関わっていただけることを期待しています。

パラリンピックの選手は、自分の身体にハンデがあっても、オリンピックに出場できる選手です。簡単にいうと、しょうがい者・児でもオリンピックで活躍することができるということです。これから東京オリンピックが始まります。パラリンピックでは、脚のない選手、腕のない選手、身体をうまく動かすことができない選手が出場されます。それでも、フィールドに立てる喜びを、

どうか皆さんで応援していただけたら、医療従事者としても嬉しく思います。

<情報として>

ここに出てくる14歳少年は、現在16歳の高校生。特別養護学校にて勉学に励み、将来教員を目指して頑張っている生活しています。パラリンピックの応援団にも選ばれ、同じ境遇の選手にも励ましの声をかけて、生き生きと過ごしています。

<フィグラーレ指導者として>

フィグラーレ選手として、障がい（ハンデ）ある選手への関わりを大切に、他者を想う選手になって欲しいと想います。

人権教育（障がい児）パラリンピック

● スクール全学年連絡

○7月26日（月）の活動について

練習会場：狭山市市民総合体育館（狭山市柏原555番地）

練習時間：19時から20時30分（集合18:55体育館前にて集合します。）

持物追加：室内シューズ（トレシューの裏を拭いて下さい）、雑巾

○8月9月 練習日程について

8月スクール練習日程	9月スクール練習日程
9日（月）狭山市市民総合体育館	6日（月）ジャクパ狭山グラウンド
23日（月）狭山市市民総合体育館	13日（月）ジャクパ狭山グラウンド
30日（月）ジャクパ狭山グラウンド	27日（月）狭山市市民総合体育館
○連絡事項 ・2日（月）と16日（月）は、夏季休業とさせていただきます。 ・9日（月）と23日（月）は、狭山市総合体育館にて19時から20時30分になります。	○連絡事項 ・20日（月）は、祝日のためお休みになります。 ・27日（月）は、狭山市総合体育館にて19時から20時30分になります。
練習時間：19時から20時30分（集合18:50コンクリート部分に荷物を置き準備します。） 練習会場：ジャクパ狭山グラウンド、狭山市市民総合体育館（狭山市柏原555番地） 連絡事項：狭山市総合体育館での約束 ○保護者観戦はできません。2階観覧席での観戦もできません。 ○自宅出発前に検温を行い、出席を取る際に、体温を担当コーチへ伝えて下さい。 ○マスクを着用して練習します。雑巾と飲み物を多めに用意して下さい。	

☆小学生プライマリー選手を募集しています☆

プライマリー選手とは、当チームに中学生に進学した際、ジュニアユースとして在籍する選手のことです。当チームの入団確約選手の特典として、ジュニアユースの平日練習（月・水・金）の活動にスクール費用2,000円にて活動することができます。早速、4年生から6年生がプライマリー選手として、活動している選手がいます。ご興味ありましたら、体験をして頂き、ご判断していただければと思います。早い段階から、練習を重ねることで、ジュニアユースになったときに、とまどいなく、身につけたスキルで活躍することができます。ご興味ありましたら、いつでも監督（浅野）までご連絡ください。ご連絡お待ちしております。